

教科書: Crown English Communication III

副教材: 共通テストリスニング分野別 10min. 共通テストドリル英語リーディング 10minutes CROSSBEAM5 以下5年次より
継続使用: Cutting Edge Green Listening Laboratory Advanced ターゲット英単語 1900 ターゲット英熟語
1000 英文解釈の技術 100 FINAL 時事英語

学習目標

<本校の英語科の目標>

国際的な感覚と教養を持ち、実践的に英語を活用してコミュニケーションを図ることができる。

- (1) 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能について、偏りのない総合的な英語力を身につける。
- (2) 語彙力・文法力・構文力に基礎をおき、幅広い英文を理解しそれに対しての自分の意見を表現する。

<第6学年の目標>

- 話す、聞く、読む、書くというそれぞれの力をバランスよく身につける。
- インプットした知識や内容を、表現活動において積極的にアウトプットする。
- 語彙力、文法力、構文力に基礎をおき、幅広い文章を理解して自分の意見を表現することができる。
- STEAM 教育をふまえ、多岐に渡るトピックに触れ、国際社会に通用する教養と英語力を身につける。

学習方法

- 長文読解(精読・速読)、英作文(和文英訳、自由英作文)、リテリング、スピーチ、ディベート、リスニングなど様々な言語活動を通して、4技能をバランスよく伸ばしていく。
- 自分が受けた小テスト・週末課題・定期考査・模試の振り返りこそ最高の問題集であると考え、活用する
- 既習の文法や語彙についても、「他人に説明できるまで」適宜復習・反復練習を行う。
- ネイティブスピーカーの先生と、間違いを恐れず、直接英語でコミュニケーションをとる。
- 長文読解の際には、「目的に応じた読み方」を使い分けられるよう、精読(構文解釈・和訳など)と速読(スキミング、スキニング、wpm 記録など)の両輪で学習をすすめる。
- 文法学習を軽視せず、「なぜそうなるのか」、常に根拠を追及し論理的に深く考えながら、体系的に学習する。そうしてインプットしたものを、アウトプットすることも忘れない。
- 朝学習の時間に速読等の小テストを行い、実践力を養う。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人ひとりの活動を單元ごとに評価を行います。

観点①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。 予習・復習を行い積極的な態度で授業に参加しようとしている。				
観点②表現の能力	既習の文法事項を使いまとまった長さの英作文が書ける。 自分の意見を積極的に発言している。				
観点③理解の能力	英語の情報について正確に聞いたり読んだりできる。 読んだ情報をもとにして問題に正確に取り組むことができる。				
観点④言語や文化に対する知識・理解	語句や文に関しての知識を身につけることができる。				
	評価の方法／観点	①	②	③	④
	授業の活動・態度の観察	◎	○		
	ワークシート、ノート提出	◎	○	○	○
	定期考査・小テスト		◎	◎	◎
	スピーチ・リテリング・ディベート	◎	◎	◎	

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	・文構造を把握して精読できる。 ・スキミング、スキニングなどを活用して速読できる。 ・音の連結・同化等を意識し英語らしい音声で音読できる。 ・学習した文法や語彙を用いて自己表現できる。 ・科学や医学、工学など、多岐に渡るテーマの英文に触れ、高度な英文を読みこなす読解力を身につける。(STEAM)	Crown Lesson 1~5 Cutting Edge Green #13~18 CROSSBEAM 5 #1~3 共通テスト（リーディング・リスニング）対策演習	個別対応（和文英訳・英文和訳・日本語記述問題等の添削等） 英字紙文を通して社会的事項や時事英語について学ぶ
2 学 期	・英文を意味のまとまりごとにとらえ、日本語を介さず、英語を英語のまま理解する。 ・英文の大意を把握し、日本語で要約を書く、また英語でも要約を書くことができる。 ・共通テスト（リーディング・リスニング）で学年平均がともに8割以上に達する英語力を養成する。 ・科学や医学、工学など、馴染みの薄いトピックについても、自分の意見や考えを英語で発信できる。(STEAM)	Crown Lesson 6~10 CROSSBEAM 5 #4~15 共通テスト（リーディング・リスニング）対策演習	個別対応（和文英訳・英文和訳・日本語記述問題等の添削等） 英字紙文を通して社会的事項や時事英語について学ぶ
3 学 期	・精読と速読で、目的に応じた読み方ができる。 ・「何となく」を脱却し、「なぜそうなるのか」根拠を他者に論理的に説明できる。 ・国公立2次試験を突破できる英語力を身につける。	共通テスト（リーディング・リスニング）対策演習	個別対応（和文英訳・英文和訳・日本語記述問題等の添削等）

学習のアドバイス

- 与えられるのを待つのではなく、自分から行動を起こす。
- 学校に通いながら勉強を進める以上、授業を中心に予習・復習を組み立てることが最も費用対効果の高い学習方法である。
- 予習＝「理解できる/できない」の仕分け 授業で明らかにすべき内容を決める時間 必ず行う。
- 授業＝上記内容を解決し、復習すべき内容を決める時間 必要な情報はメモを取る。
- 復習＝授業内容についてアウトプットで知識の定着を図る時間 目と手と口（音読）を使う。
- 「わかる」＝その仕組みや根拠を他者に説明できること 「何となく」「感覚で」等根拠の曖昧な「わかったつもり」を脱却する。
- 定期考査・模擬試験等で間違えた/わからなかった部分は自分専用の最高の問題集である。必ず解き直しをする。
- 音読を毎日行う。目だけでなく、手と口を動かす方が効果が高い。
- 質問しあえる雰囲気、教え合える仲間を作る。不明点は放置せず仲間や先生に相談・質問する。
- 大学で活用するだけでなく、生涯にわたり再度勉強する必要がある or 学びたくなるのが英語である。あなたの南多摩での努力を、未来のあなたは必ず評価するであろう。本気で取り組むべきである。